

2015 年 9 月

外国人看護師・介護福祉士受け入れに関する調査研究プロジェクト

国際教養大学アジア地域研究連携機構

(文責：秋葉)

<目的>

国際教養大学には、外国人看護師・介護福祉士の受け入れについて様々な観点から経験・知見を提供できる人材がいる。箇所を越えた連携を通じて、秋田県における外国人看護師・介護福祉士受け入れ拡大の可能性、またその際に生じる課題について、多角的な視点に基づく調査を行う。

<背景>

秋田県は全国で最も深刻な早さの少子高齢化と人口減少に見舞われている。人口減少は近年毎年 1 万人（人口の 1%）を越え、近く 100 万人を割り、2040 年には、2010 年比で人口の 3 分の 1 が失われると予測されている、また、高齢化率も全国一で、65 歳以上人口は既に 3 割を越え、2025 年には 4 割に及ぶとされる。若者の県外への流出も止まらず、今後、看護・介護の労働者の不足が予想されている。

こうした中、県内では湯沢市の医療法人がインドネシア及びフィリピンとの E P A（経済連携協定）を活用した看護師・介護福祉士の受け入れを始めているほか、県も介護分野での外国人材の受け入れの検討を行っている。湯沢市の法人では、日本語教育課程及び日本語指導者養成の専門職大学院を持つ本学の教員・大学院生が、日本語指導に当たっている。また、候補生は地域の日本語教室にも通っている。

秋田県における外国人看護師・介護福祉士の受け入れを検討するため、幅広い関係者（現場職員、施設経営者、地域の支援者・行政当局等）の知見や経験を踏まえ、日本語・日本文化指導や職場環境、国や関係機関との連携、受け入れた人材の処遇や法的地位などについて、吟味をする必要がある。

本プロジェクトは、こうした課題について、本学の教員が関係者と連携して取り組むものである。

<実施態勢>

国際教養大学アジア地域研究連携機構（旧・東アジア調査研究センターと地域環境研究センターの合併組織、熊谷嘉隆・機構長）に学内の教員で構成するプロジェクトチームを設置して行う。

<顧問>

梅原克彦（アジア地域研究連携機構・教授、前仙台市長、元経済産業省通商交渉官）

<プロジェクトメンバー>

秋葉丈志（プロジェクトリーダー、アジア地域研究連携機構・副機構長）

佐野ひろみ（日本語プログラム・教授）

橋本洋輔（日本語プログラム・助教）

嶋ちはる（日本語プログラム・助教）

プロジェクトの活動内容

<2014 年度の活動実績>

学内外の関係者を招いて、下記の研究会を実施し、年度末に中間報告書を取りまとめた。

第1回研究会（嶋ちはる）

「経済連携協定による外国人看護師・介護福祉士の受け入れとその課題」

第2回研究会（菅卓司・佐野ひろみ・橋本洋輔）

「湯沢市せいとく会におけるEPA看護師・介護福祉士受け入れの現状と課題について」

第3回研究会（渡辺利之）

「海外人材受け入れにおける台湾の経験と挑戦－労働力の域内移動の観点から－」

第4回研究会（二文字屋修）

「ベトナム人看護師養成支援事業の取り組みから今後の外国人看護・介護人材受け入れを考える」

<2015 年度の活動予定>

- ・学内外の関係者を招き、研究会を実施する（3回程度）
- ・秋田県内の介護福祉施設等に対し、外国人材受け入れについての実態調査、意識調査を行う
- ・年度末（2月ないし3月）に公開シンポジウムを実施し、成果発表・意見交換を行う
- ・2カ年の成果を取りまとめた報告書をまとめる

<問合せ先>

〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱 193-2

国際教養大学アジア地域研究連携機構 秋葉 丈志

電話： 018-886-5900（代表） 018-886-5976（直通）

電子メール： t-akiba@aiu.ac.jp

事務局： 国際教養大学 アジア地域研究連携機構 金、今（内線 5844）

以上